



町長日誌 No.44

町長日誌の第44号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

3月21日(水) 春分の日

昨夜、東京への出張から戻り休日ですが、役場でこの日誌を書いています。今朝の新聞に“特別交付税2億1,361万円”と発表がありました。この「特別交付税」は、毎年必ずしも決められた額とはならず、災害・大雪あるいはその年に他の交付金などで補われない事業などが生じた時に増額され、無ければ減額されます。今回も大空町は合併による整備経費を見て増額されていますし、病院診療報酬の改定による減収分を補ったことにより増えた町もあります。興部町は管内町村としては、遠軽>大空>美幌>斜里>佐呂間に次ぐ金額で増額の要因となる事はありませんでしたが、2億円台を確保することが出来ました。

3月14日(水)

午後1時から町議会本会議が開かれ、3月6日から審議をされました19年度予算案が原案通り決定しました。但し、今年は改選期のため6月に新町長が執行方針を述べ、新規事業などを加えて「本予算」を組むこととなります。15年度から4年間予算編成をしてまいりましたが、貯金が少なく交付税が減る中で役場も町民の皆さんにも痛みを分かち合って頂き、こうして毎年、町を運営する予算が組めたことに感謝いたします。

3月15日(木)

沙留中学校卒業式に出席を致しました。今年は11名の卒業生でした。毎年沙留中では一人ひとり卒業証書を渡す前に、卒業生本人の肉声で録音したメッセージが流されます。反抗したことへのお詫びや先生・両親への感謝、将来への抱負など一人1~2分ぐらいだと思うのですが、思わず涙を誘います。担任の大久保先生も声が詰まって呼ぶ生徒の名前がとぎれとぎれに聞こえます。私も祝辞の時思わず涙がこみ上げてしまいました。色々教育のことが国会やマスコミ等で議論されていますが、私たちの子供の頃と少しも変わらない風景が学校には今もあります。「木を見て森を見ず」と言う言葉があります。時代と共に子供も変わっているように思いますが、実は一本の木ばかりを見ているのは大人の方で、森である子供たちや学校の本質は、そんなに変わっていないのかもしれない。

先日、旭町に住むある女性からお礼のお手紙を頂戴しました。内容は、吹雪の朝、自宅前で車がはまってしまい困っていたら、除雪車の運転手さん達に助けてもらったということでした。ご主人が出張のためお留守で吹雪の中、本当に親切にして頂き感謝されている文面でした。早速、建設課の担当者にそのお手紙を渡しました。除雪についてはお叱りを受けることがほとんどですが、担当者も大変喜んでいました。お手紙、本当にありがとうございました。

「彼岸荒れ」と言う言葉がありますが、沖合いに厚い流氷があるためか大雪や吹雪が少なく助かります。反面、毛ガニ漁は遅れそうです。雪が解け、車が走りやすい季節になります。くれぐれも安全運転をお願いします。では、また。



町長のメールアドレスは、mayor@town.okoppe.hokkaido.jpです。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など（使い古しのもので構いません）に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。